

所沢のあすを考える

第5回

市民フォーラム



私たちは所沢市に住んでいて、市の将来をどのように描いているでしょうか。私たちが漠然と抱えている不安を「あす」の確かな道筋に変えていきませんか。今年は、統一地方選挙等の選挙の年です。市政に関心を持ち、参加していくきっかけにしませんか。**あなたの熱意が、市政を変えます！**さまざまな課題（裏面参照）を持ちよっての参加をお待ちしています。

【テーマ】自然エネルギーを活用した、市民共同発電所をつくる ——市民と農家が提携した地産地消プランソーラーシェアリング——

所沢でも、これまでに経験したことのない異常気象が続いています。昨夏には災害ともいわれる異常な高温が続き、2016年8月には大型の台風の襲来で市の主要河川が氾濫しました。この異常気象をもたらした原因は、温暖化ガスといわれるCO₂が増大し、地球の大気平均気温がこの数十年で急上昇したためです。

地球温暖化防止のため、国際協定（パリ協定）が結ばれ世界各国でCO₂を発生しない自然エネルギー（風力発電や太陽光発電など）の活用が望まれますが、日本では、依然、原子力発電に固執する政策がとられ、まだ20%にも達していません。

所沢市ではマチごとエコタウン構想を打ち出し、メガソーラー等、積極的に取り組んでいます。昨年5月には（株）ところざわ未来電力を設立し、清掃工場や一部のソーラー発電を電源として、市の公共施設に電力供給をする事業を開始しました。しかし電源の大部分が他市の清掃工場の発電した電力でまかなわれ、地産地消とはいえない状況です。

一昨年に遊休農地を活用したソーラーシェアリングが有効であるとの提言を行い、㈱所沢市民ソーラーを設立した所沢・自然エネルギー普及研究会メンバーが、研究成果や今秋のソーラー発電事業開始に向けてのとりくみを報告します。

日時：**2月24日（日曜）**
午後2時～4時

場所：所沢市中央公民館
学習室1・2号

主催：所沢のあすを考える
市民フォーラム

事務局 070-5029-1300（栗田）



中央公民館 電話 04-2926-9355
所沢駅西口、西所沢駅東口、航空公園西口から各々徒歩 15分

「所沢のあすを考える市民フォーラム」ニュース

第4回市民フォーラムは、2019年1月20日(日)に所沢市男女共同参画推進センター(ふらっと)の会議室で、「非正規雇用と女性の貧困」をテーマに開催しました。ゲストに、埼玉県の講師派遣事業を利用して、「女性の貧困問題」に取り組んでいる埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)事業コーディネーターの瀬山紀子さんをお迎えしました。最初に、ゲストからお話を伺い、質疑応答をはさみ、後半では、参加者されたみなさん、ひとりひとりから感想、コメントを伺いました。

■ ゲストのお話から

埼玉県は女性雇用者に占めるパート・アルバイト比率が全国的に見ても高い状況で、非正規雇用は女性就業者の6割を占めています。そして、非正規雇用の女性は、年間収入が100万円未満の層がもっとも多く、200万円以下の層が83.1%を占めています。この非正規率が高く、低収入な女性の労働状況は、配偶者による扶養がある「標準世帯」モデルの下、これまでも潜在的に存在してきた課題でしたが、問題は見過ごされていました。近年、ひとり親世帯や、単身世帯(シングル女性)が増加し、男性の雇用の不安定化が進む中で女性の貧困という課題が、少しずつ可視化されてきています。

女性の貧困は、女性に対する暴力の問題ともつながっています。また、職場におけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パワーハラスメント等の問題により休職を余儀なくされるなど、結果として女性の貧困につながる深刻な状況があります。

「女性の貧困」や女性の貧困が根底にある「子どもの貧困」に、関心を寄せ、課題解決に向けて、粘り強く考える機会をつくっていきましょう、と括られました。

■ 今後に向けて

後半の参加者のみなさんの発言から、止むを得なく非正規で働いている娘さんのお話し、両親の介護で離職した40代の男性のお話し、一人暮らしの高齢の女性が増えている、年金が少なくて暮らしていけない等、身近な課題が垣間見えてきました。所沢市の雇用者に占める女性の非正規雇用率も65.1%と高い状況です。自ら世帯の主たる生計の担い手となる女性が増加している中、今現在そして将来に向けて注視すべき課題です。

今回のフォーラムには、30数名(女性と男性が比率が約2:1)の方が参加されました。元経営者、元管理職、非正規雇用ですっと働いてきた方、介護離職された方、現役で働いている方など、異なる経験、背景を持っているみなさんと今回のテーマを考える貴重な機会となりました。性別、世代、立場が異なると、状況の見え方も異なっていたり、今までの「あたり前」が、既にあたり前でなかったり、それでも、それぞれの違いを認め合いながら、男女共同参画、ジェンダー平等の視点からよりよい未来を描いていける「フォーラム」をめざしていきたいと思います。

■ アンケートから

・男女共同参画と女性の貧困問題の関係が良く分かりました。労働者が生活できる賃金を保障していくこと、そういう制度を国レベル、地方自治体レベルでつくる。市民同士で、コミュニティをつくっていくことも考えられる。

・価値観を変えとか、日本人難しい。このままでは前進がないのもっと強力な政策や懲罰がないと、世の中変わらないと思う。

・この問題で所沢市への政策として、どう取り上げていったらよいか分かりません。国や県レベルでの政策になってしまいます。

フォーラムで課題とする「あすのための」主な政策

- ★子ども・教育環境と市政を考える～エアコン、保育園、学童
- ★介護・福祉と市政を考える
- ★エネルギーの地産地消と市政を考える～市の産業育成
- ★市の人口問題と将来について考える～少子・高齢化・生産人口の減少
- ★街づくりと地域コミュニティの在り方について考える～公共施設の再編とコミュニティ
- ★住民自治と市政のガバナンスについて(市民参加と行政・議会の関係)
- ★市の財政からみた所沢市
- ★市の民主主義や平和と安全に対する在り方
- ★男女共同参画、マイノリティーについて市政の在り方